

## 文 献

Fujita, T.T., 1982: Principal of stereoscopic height computations and their applications to stratospheric cirrus over severe thunderstorms, J. Met. Soc. Japan, 60, 355-379.

加藤一靖, 1979: 雲頂高度, 気象衛星センター技術報告, 特別号 II-2, 43-57.

Smith, E.A. and D.W. Reynolds, 1976: Comparison of cloud top height determinations from three independent sources; Satellite IR measurements; Satellite viewed cloud shadows; Radar Proceedings of the Symposium on Meteorological Observations from Space; Their Contribution to the FGGE, June 8-10, 1976, Philadelphia, Penn., U.S.A., 237-241.

## 昭和58年度朝日学術奨励金推薦・応募要領

1. 本奨励金の贈呈対象は、個人、グループ、団体を問いません。独創的な研究で研究費に恵まれない研究者の応募を期待します。いくつかの学問領域にまたがる、いわゆる「学際研究」も歓迎します。
2. 対象となる研究は、継続中のものでも、これから始めるものでも結構です。また同じ研究に対して継続して贈呈する場合があります。
3. 応募は原則として学会の関係者からの推薦が望まれています。「昭和58年度朝日学術奨励金候補推薦・応募票」は、

〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4

東京管区气象台 竹内 清秀

TEL. (03) 212-8341 内419

まで御請求下さい。

4. 奨励金の希望金額には、特に制限はありません（なお、昨年度の贈呈金額は7研究に対して合計1150万円でした）。
5. 朝日新聞社内に設けられた選定委員会が、候補研究につき学界各方面の意見をきき、選定します。
6. 締切は2月28日（朝日新聞社到着）です。

## 国際地球観測百年記念講演会のお知らせ

国際地球観測事業が始まってから今年でちょうど百年を迎えました。その間の地球の研究の歴史をふりかえり、将来を展望する意味で、下記によって記念講演会が開催されます。

日 時 昭和58年3月15日（火）15時～16時30分

主催及び場所 日本学術会議

講演者 東京大学教授 上田誠也（固体地球関係）

名古屋大学教授 樋口敬二（地球気水圏）

宇宙科学研究所 大林辰蔵（地球周辺空間）  
教授

なお、当日は国際地球観測百年の歴史をふりかえる各種展示及びパンフレットが用意されております。

（なお記念メダル〔金メッキ 2,000円、銀メッキ 1,500円、洋銀製 1,000円〕の作成が計画されていますので購入希望者は学会事務局にお問い合わせ下さい）

## 訂 正

1. 本誌29巻第11号，“昭和56年度大学院卒業論文（気象学関係）及び気象大専校卒業論文一覧”（p. 1157）から下記の掲載もれがありましたので、ここにお詫びいたします。

大学院卒業論文

昭和56年度 修士論文

三浦 章（東北大地球物理）

西太平洋の海面熱収支解析

（投稿予定）

宮本英男（東海大海洋科学）

関東地方における雷雨予報の一手法

（未発表）

2. 下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

巻 号	頁	行	誤	正
29. 8	817	右9及び10	平 光一	平光 一
29. 12	表紙	14	森 介洋	森 洋介